

海洋科学高校
専門学科
設置計画

令和3年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 海洋科学高等学校
- (2) 位置 海洋科学高等学校敷地（横須賀市長坂1-2-1）
- (3) 実施年度 令和4年度

2 設置の目的

- これまで海洋関連の産業教育の専門学科として取り組んできた教育活動を継承・発展させるとともに、水産、海洋関連産業の担い手に求められる知識や技術、技能や資格を持った人材を育成し、専門性の深化を図る。
- 本県の水産業振興の観点を踏まえ、漁業従事者等の地域産業を担う人材の育成を図る。

3 基本的コンセプト

- 学年制による全日制専門学科の県立高校としての教育を展開する。
- 学科の特色をいかした教育活動の展開
これまで長年培ってきた水産・海洋教育を継承しながら、水産に関する4学科（船舶運航科、水産食品科、無線技術科、生物環境科）において、地域社会や産業界のニーズに対応した新たな教育活動を展開する。
- 将来の職業人の育成
水産に関する学科として教育活動を展開し、水産の各分野に関する基礎的な知識・技術から高度な専門的知識と実践力を兼ね備えた職業人の育成をめざす。
- 船舶の運航に関する教育の充実
船舶運航科では、船舶の運航や漁業生産、船舶の機関や機械装置の運転・管理等、船舶における知識・技術を身に付けるとともに、船員としての規範意識やコミュニケーション能力の醸成を図る。2学年以降は、航海系と機関係のいずれかを選択させ、漁船をはじめとした船舶の安全な運航・管理に従事する航海士や、船舶の機関及び機械装置の運転・管理に従事する機関士等、船舶の運航を支える人材を育成する。
- 水産食品に関する教育の充実
水産食品科では、水産加工品を中心とした様々な食品の生産をとおして、食品原料の特性を理解し、食品衛生の意識を高めるとともに、多種多様な実習及び実験を行い、食品の製造・調理や流通等に関する知識と技術を身に付け、食品産業従事者として活躍できる人材を育成する。

- 無線に関する教育の充実
無線技術科では、船舶の安全な運航を支える無線設備の運用及び保守管理の知識・技術を身に付けるとともに、無線通信の秩序を守る責任感と自覚を養い、移動体通信業務や造船分野等における技術者として活躍できる人材を育成する。
- 生物環境に関する教育の充実
生物環境科では、水産生物の飼育と種苗生産、沿岸漁業や海洋環境・生物調査等の活動をとおして、水圏の生物と環境について理解を深め、生命を扱う責任感を培うとともに、環境保全に主体的に取り組む態度を養い、水産業の発展に貢献する人材を育成する。
- 体験的な教育活動の充実
地域に根ざした学校として、地域や産業界との連携を積極的に推進するとともに、実験・実習等の体験的な学習活動に軸を置いた教育活動を展開する。

4 設置形態

- (1) 課程 全日制の課程
- (2) 学科 船舶運航科（水産に関する学科）
水産食品科（水産に関する学科）
無線技術科（水産に関する学科）
生物環境科（水産に関する学科）
- (3) 学校規模 全日制の課程 480名（各学年160名 4学級規模程度）
船舶運航科 120名（各学年40名 1学級規模程度）
水産食品科 120名（各学年40名 1学級規模程度）
無線技術科 120名（各学年40名 1学級規模程度）
生物環境科 120名（各学年40名 1学級規模程度）
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年
- (5) 学期 3学期制
- (6) 履修形態 学科ごとの科目履修及び選択科目による科目履修
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

<日課表> (予定)

	(月) ~ (金)
ショートホームルーム	8 : 4 5 ~ 8 : 5 5
1 校 時	9 : 0 0 ~ 9 : 5 0
2 校 時	1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 5 0
3 校 時	1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 5 0
4 校 時	1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 5 0
昼 休 み	1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 3 5
5 校 時	1 3 : 3 5 ~ 1 4 : 2 5
6 校 時	1 4 : 3 5 ~ 1 5 : 2 5
清 掃	1 5 : 2 5 ~ 1 5 : 3 5
ショートホームルーム	1 5 : 3 5 ~ 1 5 : 4 0

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集 (中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針
 - 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づき、必履修科目を履修し、学校において定めた卒業単位数を修得することで卒業とする。
 - 専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。
- (2) 教育展開の方針
 - 基礎的な科目から発展的な科目を段階的に設置するとともに、体系的・系統的な専門教育を展開することで、基礎的・基本的な知識・技術の定着を図るとともに、地域や産業界、県立高校生学習活動コンソーシアムなどの資源を活用した教育の展開をとおして、水産・海洋関連産業の担い手に求められる知識や技術、技能、資格を持った人材を育成する。
 - 地域や産業界との交流を通じた体験的・実践的な学習活動や就業体験活動、長期間の現場実習等を積極的に取り入れた系統的なキャリア教育を推進する。

(3) 編成の方針

- 共通教科・科目、専門教科・科目及び選択科目で構成する。
- 基礎的な科目から発展的な科目までを設置し、体系的・系統的な教育課程を編成する。
- 集中講座による実習など、柔軟な授業形態による学習活動を展開する。

(4) 教育課程表 (予定)

学年・学科		単位数																																																																											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33																																											
1 学年	船舶運航科	現代の国語②	言語文化②	地理総合②	数学Ⅲ③	科学と人間生活②	体育③	保健①	音楽Ⅰ② 美術Ⅰ② 書道Ⅰ②	英語コミュニケーションⅠ③	水産海洋基礎④	海洋情報技術②	小型船舶③	LHR①	食品製造③	電気理論②	海洋通信技術③	漁業①	海洋生物②																																																										
	水産食品科																																																																												
	無線技術科																																																																												
	生物環境科																																																																												
2 学年	船舶運航科	論理国語②	公共②	数学Ⅱ②	物理基礎②	体育②	保健①	英語コミュニケーションⅡ②	家庭基礎②	総合実習③	食品製造②	食品管理⑥	水産流通③	LHR①	船用機関⑥	機械設計工作④	電気理論③	小型船舶①	マリン①	総合実習①																																																									
	(航海系)																																																																												
	(機関系)																																																																												
	水産食品科																																																																												
3 学年	船舶運航科	文学国語②	歴史総合②	数学Ⅱ①	体育②	英語コミュニケーションⅡ①	課題研究③	航海・計器⑤	船用機関⑤	船舶運用④	LHR	総合実習⑫																																																																	
	(航海系)																																																																												
	(機関系)																																																																												
	水産食品科																																																																												
無線技術科	文学国語②	歴史総合②	数学Ⅱ②	体育②	英語コミュニケーションⅡ②	論理・表現Ⅰ②	課題研究③	総合実習②	電気理論③	移動体通信工学③	海洋通信技術②	船舶工学①	海洋情報技術③	LHR①	海洋通信技術③	水産デュアルシステム③																																																													
生物環境科	文学国語②	歴史総合②	数学Ⅱ②	体育②	英語コミュニケーションⅡ②	課題研究③	総合実習⑥	資源増殖②	海洋環境②				生物④	LHR①	小型船舶②	水産デュアルシステム④																																																													

(○囲いの数字は単位数)

※ 教育課程表は予定であり、変更することがある。

※ 船舶運航科は、水産の基礎・基本を学ぶ学科共通専門科目を学んだうえで、2学年以降、航海系、機関係いずれかの教育課程を選択し、専門性を深める。

※ 船舶運航科「総合実習」について

2学年の「総合実習①」は5日間の集中講座、3学年の「総合実習②」は約3か月間の航海実習を行う。

水産に関する学科の体験的な教育活動の特色をいかした科目について

地域や産業界との連携を積極的に推進するとともに、実験・実習等の体験的な学習活動に軸を置いた教育活動を展開するため、学科の基本的コンセプトを踏まえた学校設定科目を設置する。

<主な科目>

水産デュアルシステム

… 地域の産業の特徴を踏まえ、企業等における産業現場実習をとおして、水産食品、無線技術、生物環境の各分野における実践的・専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度や問題解決能力、自発的創造的な学習態度を身に付ける。

船舶調理実習

… 水産食品に関する基礎的・専門的な知識や技術を踏まえ、大型実習船を活用した実習により、船舶料理士として必要な知識や技術を身に付ける。

船舶通信実習

… 無線工学や通信技術に関する基礎的・専門的な知識や技術を踏まえ、大型実習船を活用した実習により、船舶通信士として必要な知識や技術を身に付ける。

※ 「船舶調理実習」と「船舶通信実習」は集中講座（自由選択）とする。

(5) 学習指導の工夫

- 専門的な知識や技術の定着のために、学びの質や深まりを重視し、課題の発見や解決を行う探究活動に向けた主体的・協働的な学習活動の充実を図る。
- 将来のスペシャリストとして必要な基礎的・基本的な知識、技術及び技能を習得させるために、地域や産業界等との連携を図る。
- 共通教科の展開では、専門科目を学ぶ上で必要な基礎・基本の確実な定着を図るために、習熟度別等の少人数での学習活動ができるよう配慮する。また、専門科目の展開では、科目内における実験・実習、就業体験や現場実習などの体験的・実践

的な学習活動を充実させるために、少人数での学習活動ができるよう配慮する。

- 基礎的な内容から発展的な内容を体系的・系統的に学ぶ中で、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図り、自らの進路希望や学習目的に基づき、生徒が主体的に学習を進めることができるよう指導する。
- 課題研究や水産クラブ（研究・成果発表に取り組む生徒の集まり）などの活動をとおして、生徒のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を図る。

（6）生徒指導等の工夫

- 基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成に重点を置いた指導を行う。
- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部（同好会）活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、互いを高め合う良好な人間関係の構築をめざす指導を行う。
- 生徒と教員との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育むとともに、生徒理解を深め、生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を学校全体で行う体制を整える。

（7）進路指導の工夫

- 生徒が自己の在り方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。
- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい進路指導や、就労や進学に対応したガイダンス機能の充実を図るなど支援体制を確立する。
- 水産・海洋に関するさまざまな体験活動をとおして、職業人に求められる協調性や倫理観、規範意識を身に付けさせるきめ細かい指導を行う。

（8）学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校評価システムや学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）をいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

7 施設・設備の整備

- 専門学科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 専門学科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。
- 新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、計画内容について変更を行う場合がある。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256